

# 決算説明資料

2023年6月期第2四半期

メディアスホールディングス株式会社

【証券コード:3154】



## 《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

1. 市場環境とメディアスの戦略
2. メディアスホールディングスの概況
3. 中期経営計画とビジョン

## 《第二部》

取締役専務執行役員 経営管理統括本部長 芥川 浩之

1. 2023年6月期第2四半期 連結決算

## 《参考資料》

## 《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

1. 市場環境とメディアスの戦略
2. メディアスホールディングスの概況
3. 中期経営計画とビジョン

## 《第二部》

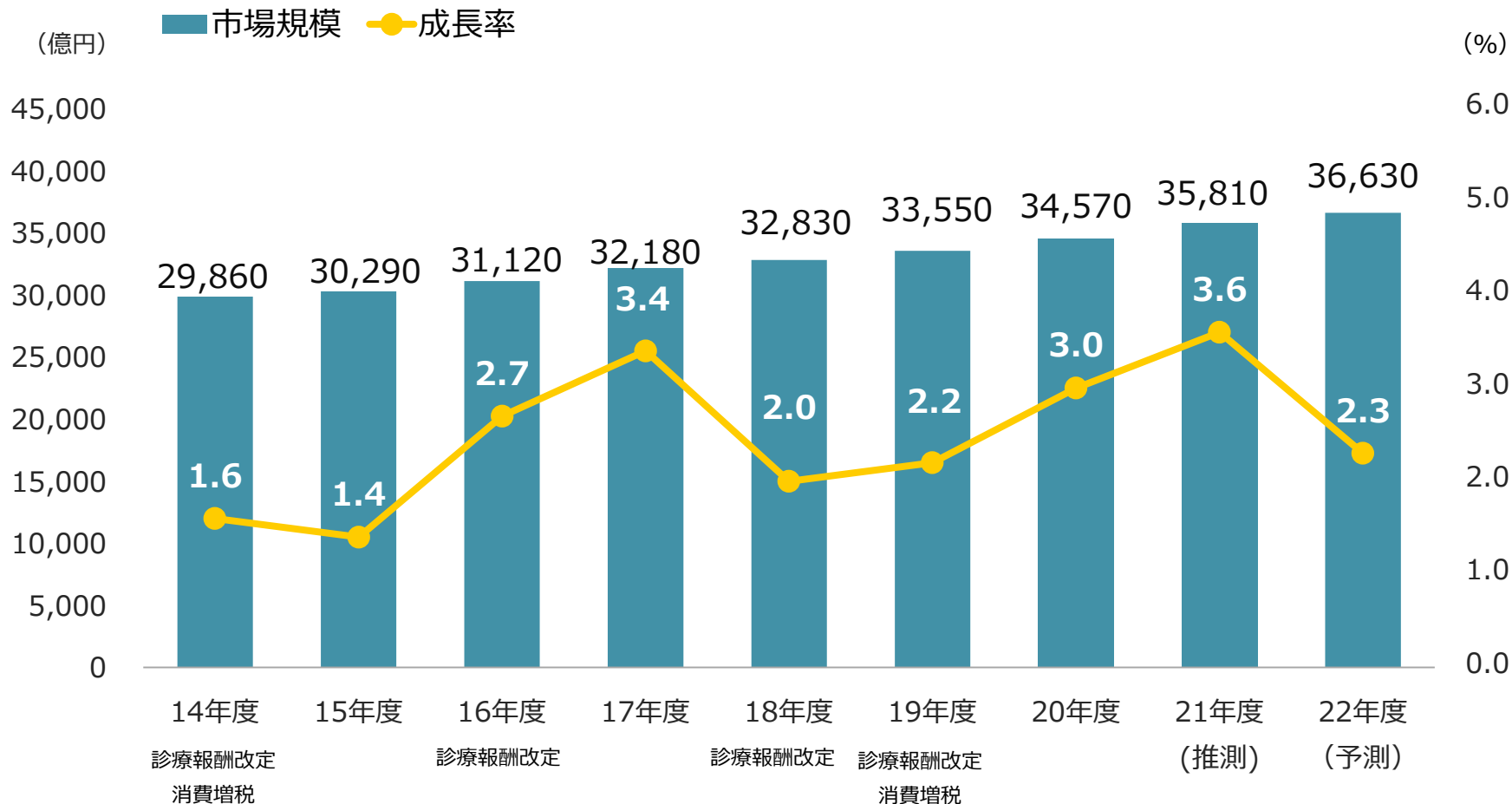
取締役専務執行役員 経営管理統括本部長 芥川 浩之

1. 2023年6月期第2四半期 連結決算

## 《参考資料》

創業時から変わらぬ想い

# 地域医療への貢献



※出所：(株)オールアンドデイ「医療機器・用品年鑑2022年版 市場分析編」

日進月歩の医療技術

ますます先端化する医療機器

時代の変化に伴い、日々多様化するニーズ



メディアグループの保有する

**「M & A力」「ソリューション力」「効率化」**

新たな価値を創造し、医療現場の課題解決に寄与

医療現場の発展や医療従事者の方々の負担軽減に貢献

## 各種ソリューションツールで 良質な医療環境の提供

### SPD

[物流管理システム]



物流管理 分析 経営改善  
収支改善

- 医療材料の管理の効率化をして、看護時間を確保したい。
- 医療材料の発注ミスを防ぎたい。

### STORE

[簡易物流管理システム]



物流管理 分析

- 手間を掛けずに医療材料の管理をしたい。
- 簡易的な物流管理システムを入れたい。

### meccul

[材料価格の最適化支援システム]



分析

経営改善  
収支改善

- 最適な医療材料を選びたい。
- 医療材料の購買内容や変化を客観的に分析しコスト削減をしたい。

### ASOURCE<sup>®</sup>[DATABASE]

[医療材料データベース]



データ  
ベース

- 網羅性・信頼性の高い商品マスタを参照したい。
- 商品情報の収集を効率的に行いたい。

### SURGELANE<sup>®</sup>

[手術室運営支援プログラム]



手術室 運営改善  
収支改善 分析 医事課

- 手術の稼働内容や収支状況の情報を把握したい。
- 効率的な手術室経営をしたい。

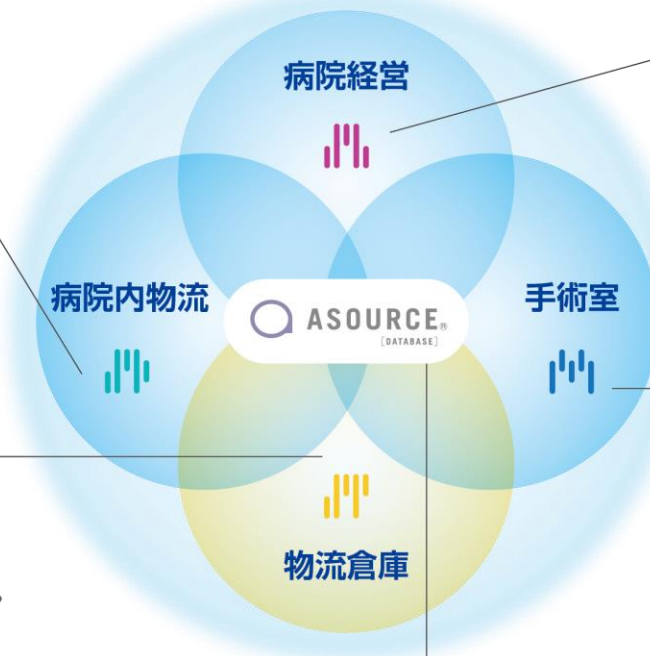
### MORISS<sup>®</sup>

[手術情報共有システム]



手術室 情報共有 医事課

- 外科手術に関わる医療材料の管理の効率化をして、看護時間を確保したい。
- 手術スタッフで情報共有をしたい。



## 《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

1. 市場環境とメディアスの戦略
2. メディアスホールディングスの概況
3. 中期経営計画とビジョン

## 《第二部》

取締役専務執行役員 経営管理統括本部長 芥川 浩之

1. 2023年6月期第2四半期 連結決算

## 《参考資料》



コロナ以前

コロナ禍

ウィズ/ポストコロナ

事業規模拡大

安定供給／医療を止めない

事業拡大のための投資

スピードアップ

調達／症例減少

コロナ特需の反動減

M&Aの推進

コロナ関連販売強化／SPD獲得

M&Aの更なる加速

テーマ

課題

対応

4,000

3,500

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

(百万円)

168,135

960

18/6期

197,691

875

19/6期

210,388

1,100

20/6期

246,787

2,656

過去最高益

21/6期

259,574

2,267

22/6期

1,300

23/6期  
(予想)

設備投資のため  
一時的な  
利益減少の見込み

24/6期  
(予想)

売上高は順調に推移

300,000

250,000

200,000

150,000

100,000

50,000

0

(百万円)

※グラフの数値については、過年度の実績との比較可能性から「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で表示しています。

## 《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

1. 市場環境とメディアスの戦略
2. メディアスホールディングスの概況
3. 中期経営計画とビジョン

## 《第二部》

取締役専務執行役員 経営管理統括本部長 芥川 浩之

1. 2023年6月期第2四半期 連結決算

## 《参考資料》

## 基盤を固める新たなスタート

中期経営計画〈2023年6月期～2025年6月期〉定量目標

項目	目標値
売上高	年成長率5%以上※
経常利益	20億円以上
ROE	8%以上

※M&Aを除く。

2023年

2025年

非財務

財務

社会貢献

社会貢献団体への支援

地球環境

Scope1,2算定、CO2削減への取組み

人的資本

人材と組織のマネジメント計画  
従業員エンゲージメント向上

価値確立

地域医療提供体制への持続的支援

収益性

収益構造の効率化

株主還元

強化、多様化

経営基盤

ガバナンス

ヒト

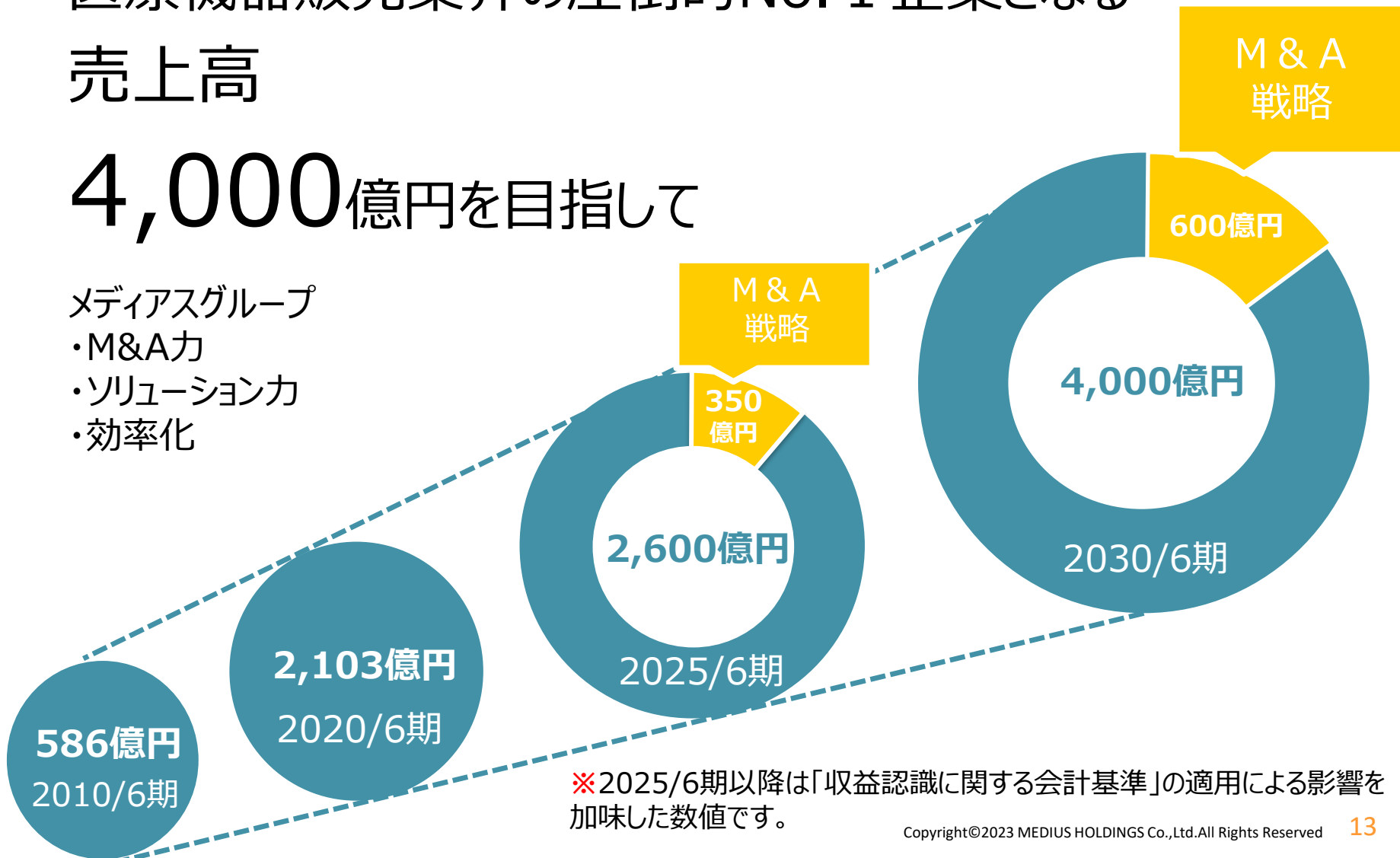
ネットワーク

# 医療機器販売業界の圧倒的No. 1 企業となる 売上高

## 4,000億円を目指して

メディアスグループ

- ・M&A力
- ・ソリューション力
- ・効率化



※2025/6期以降は「収益認識に関する会計基準」の適用による影響を加味した数値です。

医療の現場から、子どもたちに栄養と希望を

## 国連WFP「レッドカップキャンペーン」参画



### 《目的と概要》

- ✓ 地域の医療機関とメディアスグループが一体となり行う社会貢献。
- ✓ キャンペーンに賛同する企業が対象商品にレッドカップマークを付けて販売し、売上の一部を寄付すると飢餓に苦しむ途上国の学校給食支援に役立てられる。世界に5,900万人いると言われている学校に通えない子どもたちに学校給食を提供することにより、就学の機会をつくり、勉学の意欲を高めて未来につなぐ取組み。
- ✓ メディアスグループでは、プライベートブランド「ASOURCE SELECT」の一部の商品にて実施。

ひとりでも多くの子どもたちに学校給食を



現在と未来の医療をつなぐ

## 2022年11月 メディメッセージ2022開催

《目的と概要》



開催日：2022年11月26、27日

会場：キラメッセぬまづ

- ✓ よりよい医療環境の創出と医療の担い手づくりを目的として2007年より参画するイベント。手術室を再現して実演する企画のほか、体験コーナーや現役医師のトークライブなど、地域の方々に医療の仕事を楽しみながら体験していただく場として開催。
- ✓ 2020年からの新型コロナウイルスの感染拡大によってイベントの開催を見送ってきたが、医師不足という課題を抱える静岡県において若い世代の人たちが医療と向き合う機会を創出したいという思いにより、運営体制の見直しや感染予防対策を行い、3年ぶりに会場にて開催。





## 持続可能な物流体制の構築

# 物流パートナーシップ優良事業者表彰受賞



### 《概要》

- ✓ 経産省と国交省が実施する「物流パートナーシップ優良事業者表彰」の「強靱・持続可能表彰」を受賞。
- ✓ ジョンソン・エンド・ジョンソン様と栗原医療器械店含めた13社の販売代理店との連携により、緊急時・災害時にも迅速な対応を可能にした。出荷・返却にかかる配送距離を大幅に削減し、CO2削減への寄与も評価され、受賞。



## 従業員の健康増進

# 健康経営の認定取得



### 《目的と概要》

- ✓ 社員個々の心身の健康を保ち、健康促進による会社全体の生産性向上を図る。
- ✓ 栗原医療器械店と協和医科器械は経産省と日本健康会議による「健康経営優良法人2023（大規模法人）」の認定取得見込み、メディアスHDは健康保険組合による「健康優良企業（STEP1銀）」の認定を取得しました。

- 栗原医療器械店
- 協和医科器械

- メディアスホールディングス
- 栗原医療器械店
- 協和医科器械





## 《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

1. 市場環境とメディアスの戦略
2. メディアスホールディングスの概況
3. 中期経営計画とビジョン

## 《第二部》

取締役専務執行役員 経営管理統括本部長 芥川 浩之

1. 2023年6月期第2四半期 連結決算

## 《参考資料》

## 2023年6月期第2四半期実績

売上高は前期比で増加しているが、販売費及び一般管理費の増加に伴い営業利益は減少

売上高 **1,158億円**（前年同四半期比 **5.5%増**）

営業利益 **10億円**（前年同四半期比 **34.5%減**）

※営業利益が期初予測超過する見込みとなったため、2023年2月7日に業績予想及び配当予想を修正しております。

### 《消耗品》

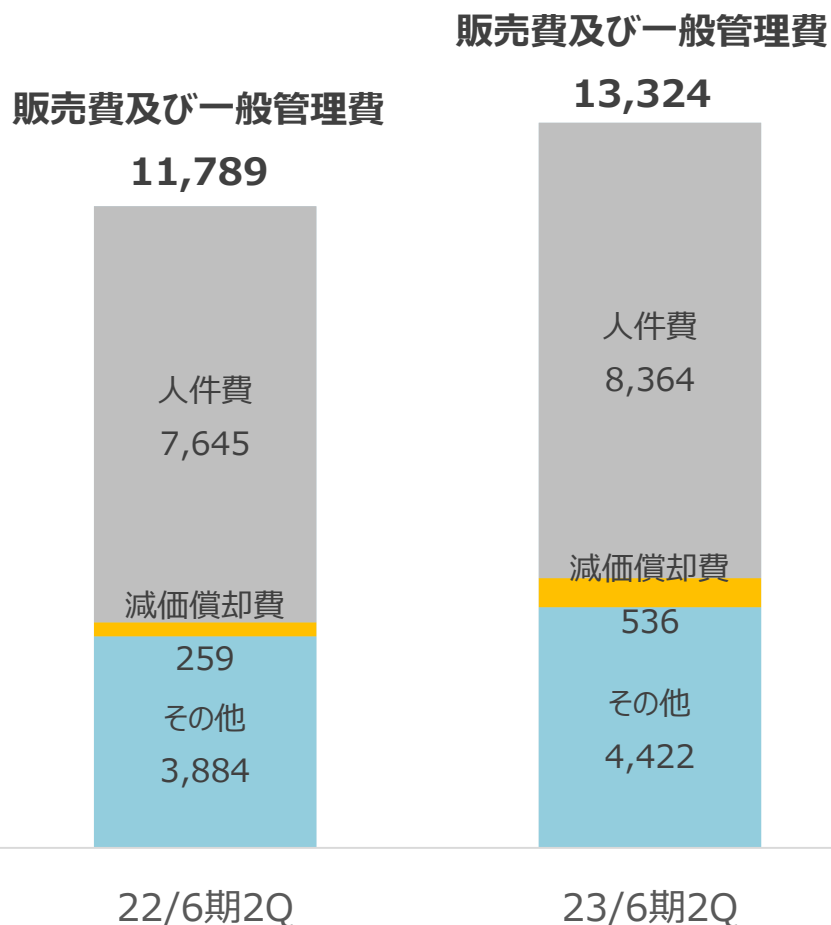
- 手術症例数回復に伴う手術関連製品の販売増加
- 新規顧客の獲得や前期獲得したSPD施設への販売による増収
- 感染対策製品については需要が継続したことから販売が拡大
  - ただし、検査試薬については、前年同期間に東京オリンピック・パラリンピックが開催されていたことに伴う需要拡大があったこともあり販売縮小

### 《備品》

- 新型コロナウイルス感染対策に係る案件は収束傾向
- 医療機関における設備投資が活発化

## 販売費及び一般管理費の状況

販売費及び一般管理費 **133億24百万円** (前年同四半期比 **13.0%増**)  
 人件費 **83億64百万円** (前年同四半期比 **9.4%増**)



### 人件費

- ✓ 事業規模拡大に伴う人材採用
- ✓ 前期に獲得したSPD運営に伴う人員増加

### 減価償却費

- ✓ 2022年5月より稼働している新物流センターに関する減価償却費が計画通り発生

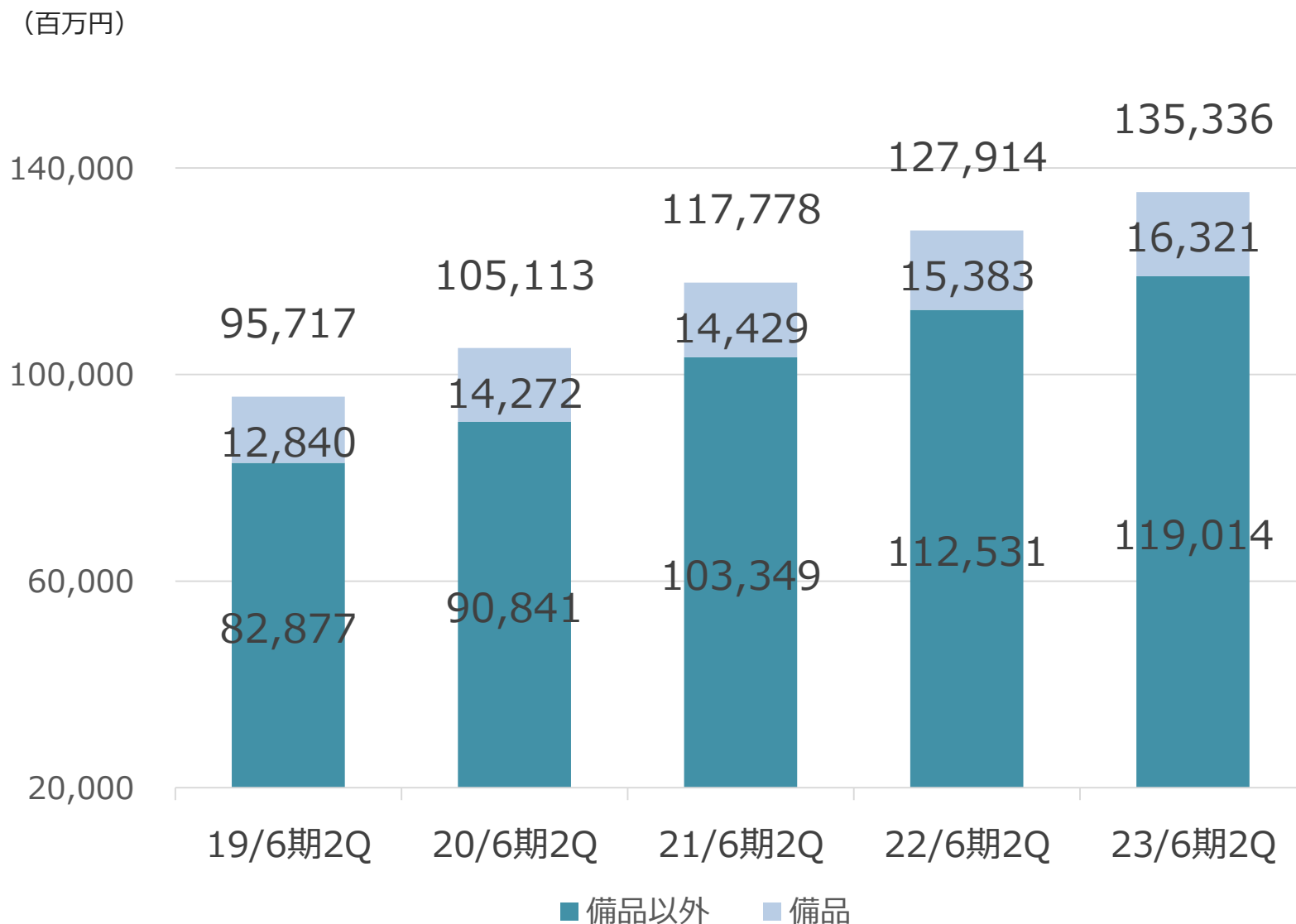
### その他

- ✓ 事業規模拡大に伴う物流やSPDの外部委託費用等の増加

(百万円、%)

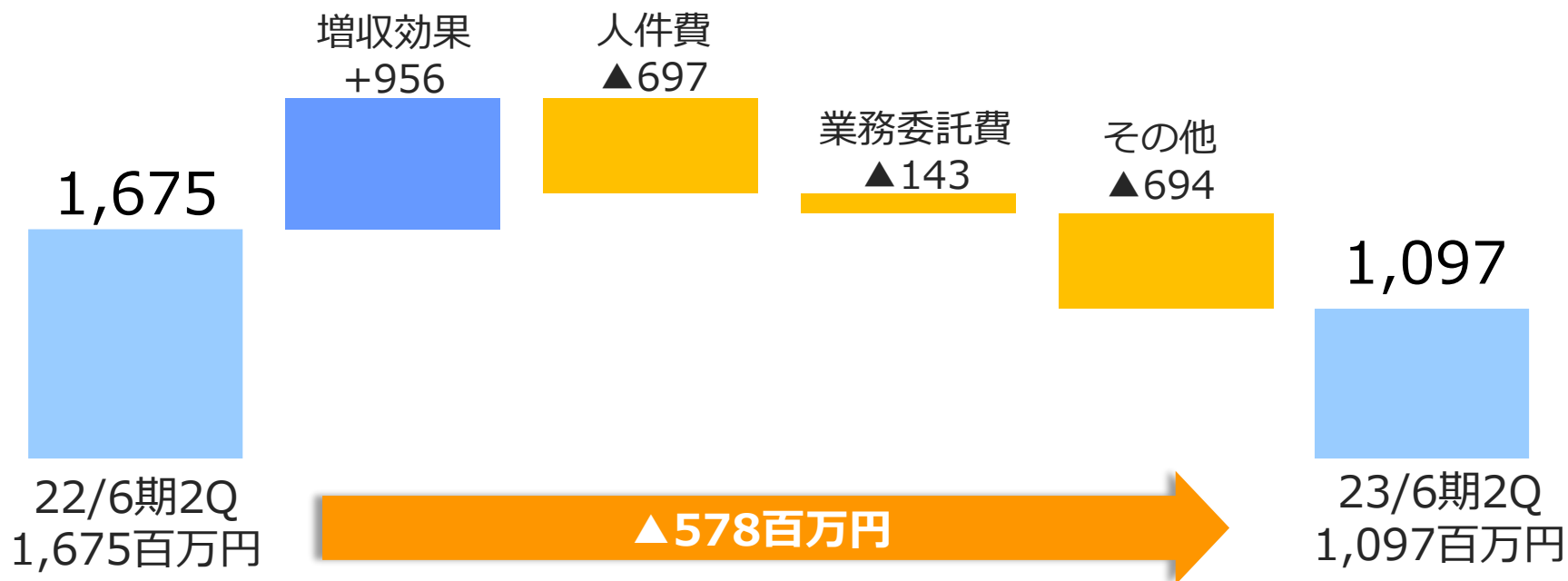
項目	22/6期2Q (実績)	23/6期2Q (実績)		前期比	
	金額	金額	百分比	増減額	比
売上高	109,721	115,807	100.0	6,085	105.5
医療機器販売事業	106,989	113,086	97.7	6,096	105.7
介護・福祉事業	2,731	2,720	2.3	△11	99.6
営業利益	1,675	1,097	0.9	△578	65.5
経常利益	1,928	1,342	1.2	△586	69.6
四半期純利益	1,429	859	0.7	△570	60.1
1株あたり四半期 純利益(円)	65.37	39.19	-	-	-

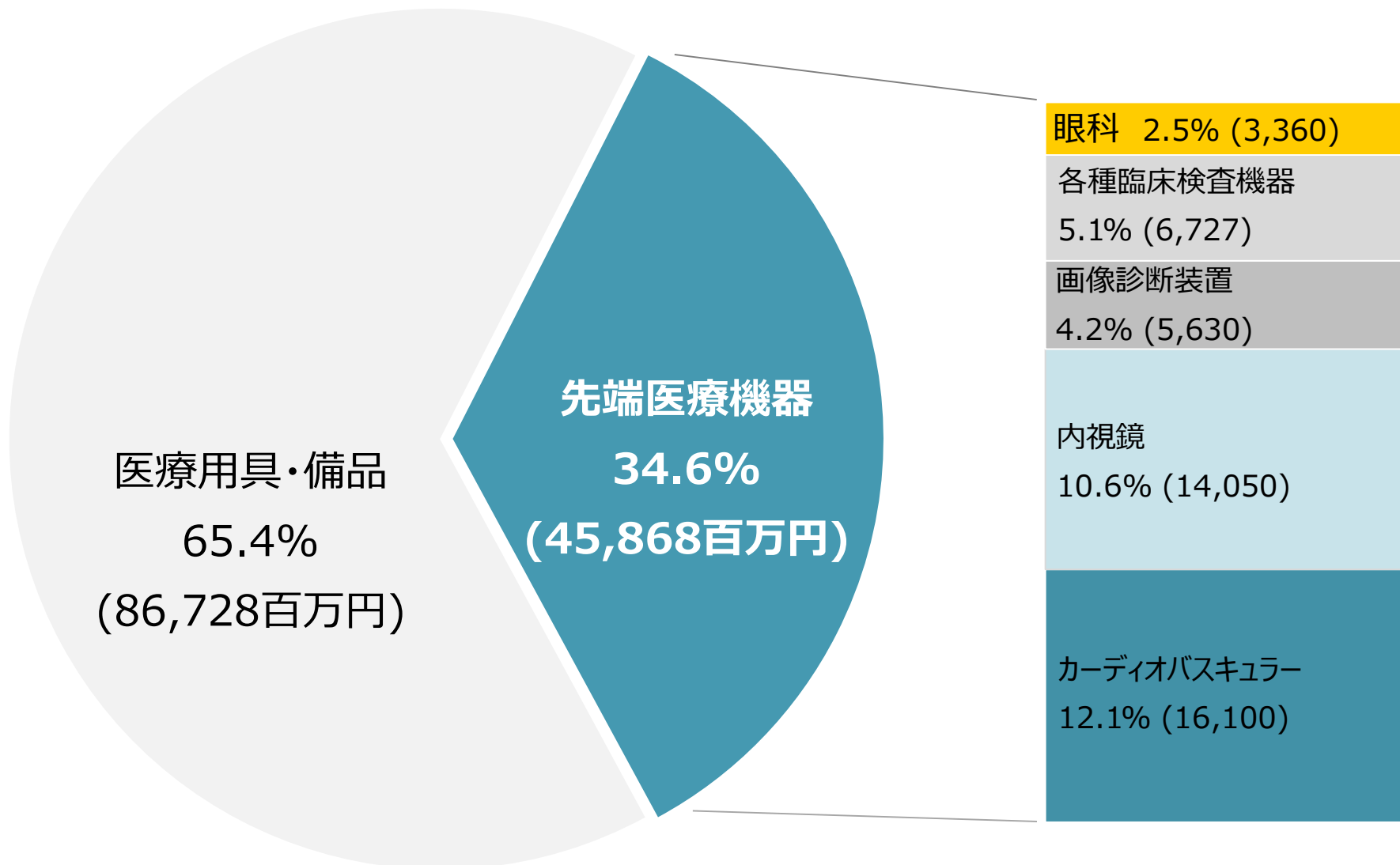
※表示単位以下は切り捨てています。



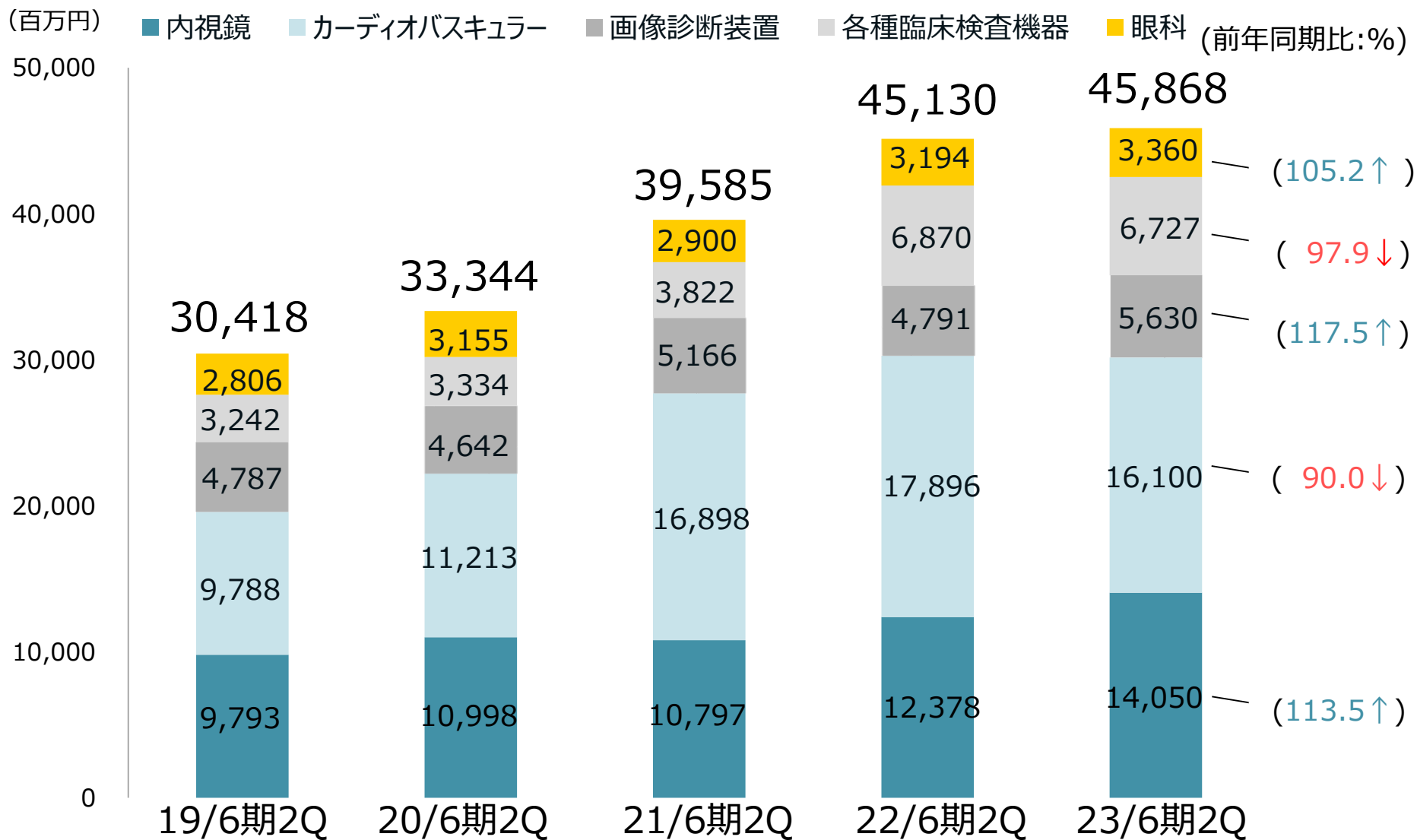
※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用以前の基準にて算出しております。

(百万円)





※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で表示しています。



※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用以前の基準にて算出しております。



# 都道府県別売上高推移

(百万円、%)

項目	19/6期 2Q	20/6期 2Q	21/6期 2Q	22/6期 2Q	23/6期 2Q	構成比	前年同期比
北海道	–	–	2,830	2,789	3,406	2.5	122.1 ↑
秋田県	1,770	2,260	1,936	2,140	2,393	1.8	111.8 ↑
群馬県	12,336	13,425	13,411	14,509	14,888	11.0	102.6 ↑
茨城県	4,966	5,230	5,370	6,115	7,088	5.2	115.9 ↑
埼玉県	13,130	15,093	15,903	16,287	17,028	12.6	104.5 ↑
千葉県	1,943	2,047	2,820	3,251	4,641	3.4	142.7 ↑
東京都	11,716	13,622	17,555	18,601	20,170	14.9	108.4 ↑
神奈川県	9,433	12,099	13,520	16,892	15,016	11.1	88.9 ↓
静岡県	19,973	21,481	22,294	23,105	23,703	17.5	102.6 ↑
愛知県	6,381	6,803	7,427	7,404	7,962	5.9	107.5 ↑
福井県	6,840	7,145	8,289	9,054	9,449	7.0	104.4 ↑
京都府	–	–	–	777	1,502	1.1	193.2 ↑
その他	7,225	5,902	6,418	6,983	8,083	6.0	115.8 ↑
<b>合計</b>	<b>95,717</b>	<b>105,113</b>	<b>117,778</b>	<b>127,914</b>	<b>135,336</b>	–	<b>105.8 ↑</b>

※売上高は当社グループ拠点所在地別の都道府県です。

※19/6期にミタス及びディーセンス（現アルバース）（2018年7月1日～）、20/6期にアクティブメディカル（現アルバース）（2020年3月31日～）がグループ入り。20/6期よりメディアソリューションを連結組み入れ。22/6期に佐野器械（2021年10月1日～）、23/6期にノアインターナショナル（2022年10月4日～）がグループ入り。

※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用以前の基準にて算出しております。

(百万円、%)

項目	22/6期	23/6期			
	通期	上期 (実績)	通期 (期初計画)	通期 (修正計画)	前期比
売上高	221,694	115,807	230,000	230,000	103.8
営業利益	2,267	1,097	700	1,300	57.3
経常利益	2,757	1,342	1,100	1,750	63.5
当期純利益	1,867	859	600	1,100	58.9
売上高営業利益率	1.0	0.9	0.3	0.6	-

※営業利益が期初予測超過する見込みとなったため、2023年2月7日に業績予想及び配当予想を修正しております。

## 2023年6月期 業績見通し

### ● 売上高、売上総利益

- ✓ 一部想定ほど症例が回復しない地域・診療領域があったものの、新規顧客獲得・既存顧客におけるシェア拡大が進捗したことで予測通り推移する見込み
- ✓ ウクライナ情勢や円安の影響により売上原価は増加傾向にあるものの、営業活動を強化し収益改善を図ることで売上総利益は計画を上回る見込み

### ● 営業利益、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益

- ✓ 主要子会社における営業拠点移転等の執行時期の変更や実施案件の費用抑制・業務効率化推進により販売費及び一般管理費が計画を下回る見込み
- ✓ 投資有価証券売却益が2Qに発生（1億円）

## 配当性向

長期に亘る経営基盤の強化と事業拡大に必要な内部留保を確立しつつ、成長に応じた成果の配分を実施する事を基本方針としております。

これまで配当性向を20～30%を基本方針とし決定してまいりましたが、株主の皆様に対する公平な利益還元の観点から、2023年6月期より**30%以上**を目標とすることといたしました。

	18/6期	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	23/6期 (予想)
1株あたりの配当金 (期初予想)	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
1株あたりの配当金	14.0	14.0	14.0	21.0	19.0	18.0
連結配当性向 (%)	36.7	—	32.1	22.1	22.3	35.9

23/6期予想について：

上記の方針及び業績予想の修正等の状況を勘案し、期末配当を前回予想から4円増配し、1株当たり18円へ修正させていただきます。

## 情報開示

情報開示（ディスクロージャー）  
担当役員 取締役 芥川 浩之  
担当部署 経営企画部

## I R

I R  
担当役員 取締役 宮地 修平  
担当部署 広報IR部

メール : [ir.m@medius.co.jp](mailto:ir.m@medius.co.jp)

URL : <https://www.mediust.co.jp/>

《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

1. 市場環境とメディアスの戦略
2. メディアスホールディングスの概況
3. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

取締役専務執行役員 経営管理統括本部長 芥川 浩之

1. 2023年6月期第2四半期 連結決算

《参考資料》

事業内容： 医療機器の販売及びメンテナンス事業  
介護福祉機器の販売及びレンタル事業

設立

2009年7月  
(2010年現社名へ商号変更)

資本金

13.4億円  
(2022年12月末現在)

従業員

2,152名  
(グループ計 2022年12月末現在)

決算期

6月末

代表者

代表取締役  
池谷 保彦

所在地

東京都千代田区有楽町  
一丁目2番2号  
東宝日比谷ビル



# MEDIUS

国内有数の医療環境サプライヤーとしての  
揺るぎない覚悟と実績に基づく信頼  
それが私たちの強みです

## 医療機器販売事業

- 株式会社アクティブメディカル
- 株式会社アルパース
- ノアインターナショナル株式会社
- 協和医科器械株式会社
- 株式会社秋田医科器械店
- 株式会社ミタス
- 株式会社栗原医療器械店
- 佐野器械株式会社

## グループ会社数

# 11

## 医療機器の修理・保守

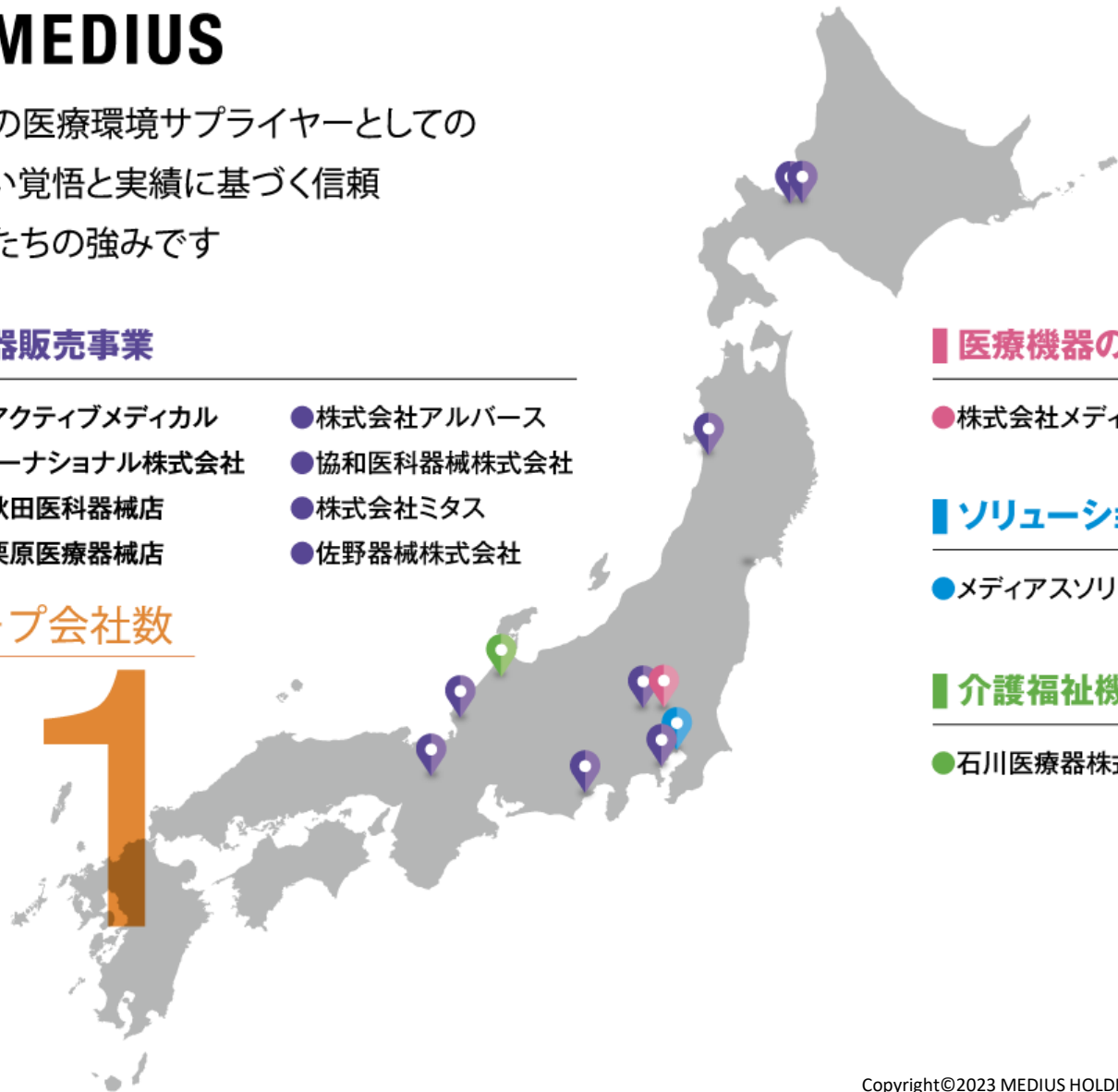
- 株式会社メディカルバイオサイエンス

## ソリューションサービス事業

- メディアスソリューション株式会社

## 介護福祉機器専門販売事業

- 石川医療器株式会社







## 都道府県別拠点数

北海道	10
秋田県	4
群馬県	9
栃木県	1
茨城県	3
千葉県	4
埼玉県	5
東京都	13
神奈川県	4
山梨県	1
長野県	1
新潟県	2
静岡県	12
愛知県	6
富山県	1
石川県	3
福井県	5
大阪府	1
京都府	1

2022年12月現在

本資料は当社をご理解して頂くために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たり、正確性を期するために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。